

2025年5月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 キャリアバンク株式会社

上場取引所 札

コード番号 4834 URL <https://www.career-bank.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

TEL 011-251-3373

半期報告書提出予定日 2025年1月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 証券会社及び金融機関向け

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年6月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	2,530	△19.8	32	—	△27	—	△44	—
2024年5月期中間期	3,154	△10.0	△115	—	△99	—	△27	—

(注) 包括利益 2025年5月期中間期 △52百万円 (—%) 2024年5月期中間期 △72百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	△45.15	—
2024年5月期中間期	△27.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期中間期	2,852	1,260	43.7	1,256.54
2024年5月期	2,713	1,327	48.4	1,323.27

(参考) 自己資本 2025年5月期中間期 1,247百万円 2024年5月期 1,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2025年5月期	—	0.00	—	—	—
2025年5月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日～2025年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,243	—	125	—	173	—	120	—	121.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年5月期の連結業績予想につきまして、株式会社エコミックグループが連結子会社から持分法適用関連会社に変更されたことに伴い、対前期増減率に関しては記載していません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年5月期中間期	993,000 株	2024年5月期	993,000 株
2025年5月期中間期	— 株	2024年5月期	— 株
2025年5月期中間期	993,000 株	2024年5月期中間期	993,000 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の緩やかな改善や個人消費の持ち直しなどにより、景気が緩やかに回復しておりますが、円安傾向の継続及び世界的な資源並びに原材料価格の高騰など、先行きは依然として不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループは、企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たし、質の高い人材サービスの提供を通じて、双方が求めるニーズに応えてまいりました。

当中間連結会計期間より事業セグメントの見直しを行っております。詳しくは、2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)【セグメント情報】(報告セグメントの変更等に係る事項)に記載しております。

人材紹介・人材派遣関連事業においては、人材派遣関連事業の長期派遣契約が減少した影響があったものの、人材紹介の成約数増加及び外国人材に係る事業が拡大した結果、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。就労支援等委託事業においては、受託する地域の拡充が図れたことで受託数が増加した結果、売上高が前年同期を上回りましたが、受託事業の利益率が減少したことにより、セグメント利益が前年同期を下回りました。教育研修事業においては、人材不足による採用難の影響を受け、社員の定着を図る目的で社内研修の需要が増加した結果、売上高が前年同期を上回りましたが、日本語学校運営事業で生徒募集に係る先行費用が増加したことにより、セグメント利益が前年同期を下回りました。

また、BPO事業は、株式会社エコミックの増資に伴い、同社グループを連結子会社から持分法適用関連会社に変更したことにより、当中間連結会計期間より報告セグメントから外れております。なお、前中間連結会計期間のBPO事業は、売上高603,171千円、セグメント損失157,317千円であります。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は、売上高2,530,742千円(前年同期比19.8%減)、営業利益32,471千円(前年同期は営業損失115,368千円)、経常損失27,305千円(前年同期は経常損失99,258千円)、親会社株主に帰属する中間純損失44,831千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失27,365千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ234,264千円増加し、1,939,940千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産の増加540,074千円と現金及び預金の減少302,133千円との差額等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ95,404千円減少し、912,203千円となりました。

この結果、総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ138,860千円増加し、2,852,144千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ408,109千円増加し、1,366,282千円となりました。これは主に短期借入金の増加100,000千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加200,000千円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ202,643千円減少し、225,259千円となりました。これは主に長期借入金の減少200,000千円によるものであります。

この結果、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ205,465千円増加し、1,591,541千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ66,605千円減少し、1,260,602千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月16日に発表いたしました2025年5月期(2024年6月1日から2025年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,070,772	768,638
売掛金及び契約資産	486,005	1,026,080
その他	150,488	146,470
貸倒引当金	△1,591	△1,249
流動資産合計	1,705,676	1,939,940
固定資産		
有形固定資産	123,253	121,806
無形固定資産		
のれん	16,025	12,820
その他	14,532	12,484
無形固定資産合計	30,557	25,304
投資その他の資産		
投資有価証券	766,392	675,309
その他	87,405	89,782
投資その他の資産合計	853,797	765,092
固定資産合計	1,007,608	912,203
資産合計	2,713,284	2,852,144
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,018	71,547
短期借入金	400,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	—	200,000
未払費用	258,876	297,126
未払法人税等	7,824	25,173
未払消費税等	29,652	69,756
その他	205,801	202,677
流動負債合計	958,172	1,366,282
固定負債		
長期借入金	400,000	200,000
その他	27,903	25,259
固定負債合計	427,903	225,259
負債合計	1,386,076	1,591,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	103,265	103,265
利益剰余金	864,996	806,263
株主資本合計	1,224,503	1,165,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,669	64,463
為替換算調整勘定	19,833	17,510
その他の包括利益累計額合計	89,502	81,974
非支配株主持分	13,202	12,857
純資産合計	1,327,208	1,260,602
負債純資産合計	2,713,284	2,852,144

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	3,154,154	2,530,742
売上原価	2,564,108	2,026,198
売上総利益	590,045	504,544
販売費及び一般管理費	705,414	472,072
営業利益又は営業損失(△)	△115,368	32,471
営業外収益		
受取賃貸料	4,351	5,020
受取配当金	2,107	2,506
助成金収入	6,201	—
保険解約返戻金	6,437	—
その他	8,721	1,094
営業外収益合計	27,819	8,621
営業外費用		
支払利息	2,636	2,265
賃貸費用	4,351	5,020
持分法による投資損失	—	61,112
為替差損	4,374	—
その他	346	—
営業外費用合計	11,709	68,398
経常損失(△)	△99,258	△27,305
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,449
特別利益合計	—	1,449
税金等調整前中間純損失(△)	△99,258	△25,855
法人税等	△2,910	19,023
中間純損失(△)	△96,347	△44,878
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△68,982	△47
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△27,365	△44,831

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純損失(△)	△96,347	△44,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,993	△5,376
為替換算調整勘定	16,911	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△2,322
その他の包括利益合計	23,905	△7,698
中間包括利益	△72,442	△52,577
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△13,532	△52,359
非支配株主に係る中間包括利益	△58,910	△218

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△99,258	△25,855
減価償却費	60,808	7,246
持分法による投資損益 (△は益)	—	61,112
のれん償却額	11,041	3,205
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35,172	—
保険解約損益 (△は益)	△6,436	—
支払利息	2,636	2,265
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,449
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△298,084	△540,169
営業債務の増減額 (△は減少)	16,019	15,529
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	—	△12,300
未払金の増減額 (△は減少)	△203,266	△15,417
未払費用の増減額 (△は減少)	△110,860	38,250
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45,023	40,104
預り金の増減額 (△は減少)	7,083	25,293
契約負債の増減額 (△は減少)	8,050	△11,693
その他	△4,062	△5,739
小計	△626,180	△419,616
利息及び配当金の受取額	3,087	22,282
法人税等の支払額	△44,203	△5,078
法人税等の還付額	6,573	21,451
その他	△2,668	△2,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	△663,392	△383,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,157	△3,629
無形固定資産の取得による支出	△16,800	—
投資有価証券の売却による収入	—	1,450
敷金及び保証金の回収による収入	14,804	—
敷金及び保証金の差入による支出	△23,122	△2,617
保険積立金の解約による収入	15,472	—
その他	△1,881	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,684	△4,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△188,822	—
配当金の支払額	△13,690	△13,930
非支配株主への配当金の支払額	△17,105	△126
その他	△450	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,068	85,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,068	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△840,076	△302,133
現金及び現金同等物の期首残高	2,456,817	1,070,772
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,616,741	768,638

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他(注)1	合計
	人材紹介・ 人材派遣関連 事業	就労支援等 委託事業	教育研修事業	BPO事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,725,582	570,440	193,052	603,171	3,092,247	61,907	3,154,154
外部顧客への売上高	1,725,582	570,440	193,052	603,171	3,092,247	61,907	3,154,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,035	—	264	5,173	12,473	33,016	45,490
計	1,732,618	570,440	193,316	608,345	3,104,721	94,923	3,199,645
セグメント利益又は損失(△)	95,232	70,251	43,227	△157,317	51,393	7,396	58,789

	調整額(注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	3,154,154
外部顧客への売上高	—	3,154,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	(45,490)	—
計	(45,490)	3,154,154
セグメント利益又は損失(△)	(174,158)	△115,368

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるソフトウェア・ハードウェア開発事業等に係るものであります。

2. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△174,158千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,928千円及びセグメント間取引△11,229千円が含まれております。

(2) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は中間連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額(注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	人材紹介・ 人材派遣関連 事業	就労支援等 委託事業	教育研修事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	1,744,851	589,217	196,673	2,530,742	2,530,742	—	2,530,742
外部顧客への売上高	1,744,851	589,217	196,673	2,530,742	2,530,742	—	2,530,742
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14,344	—	515	14,859	14,859	(14,859)	—
計	1,759,196	589,217	197,188	2,545,602	2,545,602	(14,859)	2,530,742
セグメント利益	120,653	43,862	31,608	196,124	196,124	(163,652)	32,471

(注) 1. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△163,652千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△163,652千円が含まれております。

(2) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(報告セグメントの変更等に係る事項)

前連結会計年度に株式会社エコミックの増資により、同社グループを連結子会社から持分法適用関連会社に変更したこと及び当社の組織体制の見直しをしたことに伴い、当中間連結会計期間より、これまでの事業セグメントの区分方法の見直しを行い、報告セグメントを従来の「人材派遣関連事業」「人材派遣関連事業(関東)」「人材紹介事業」「再就職支援事業」「BPO事業」「日本語学校運営事業」から「人材紹介・人材派遣関連事業」「就労支援等委託事業」「教育研修事業」に変更しております。これに伴い、各報告セグメントの前年同期の実績値を変更後のセグメント区分に組み替えて表記しております。また、株式会社エコミックを持分法適用関連会社に変更したことに伴い、当中間連結会計期間より「BPO事業」は報告セグメントから除外しております。